

その他

CONCRETE PRODUCTS CATALOG

INDEX

P.11-02	ハイテンプレート (基礎板)
P.11-03	基礎板
P.11-05	ソーラー基礎ブロック
P.11-08	床版 (特注基礎板)

ハイテンプレート（基礎板）



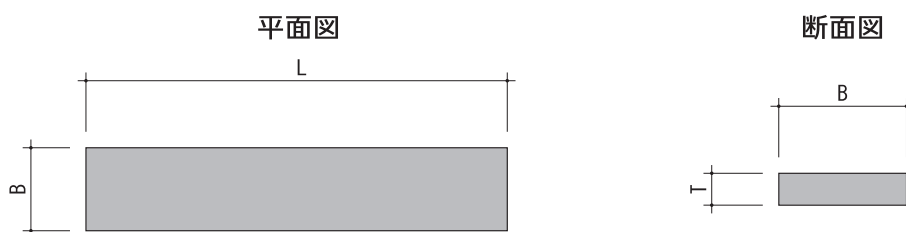
■ 説明

ボックスや可変側溝の現場打ち基礎コンクリートの替わりとして使用できるコンクリート製品です。
一日で掘削から据え付け埋め戻しまでの全工程を完了することも可能です。

■ 特長

1. 現場打ち基礎コンクリートの養生に要した期間を短縮し、急速施工ができる。
2. 従来の鉄筋コンクリートに比べ、強度大にしてより軽く、経済的なコンクリート製品

■ 形状寸法

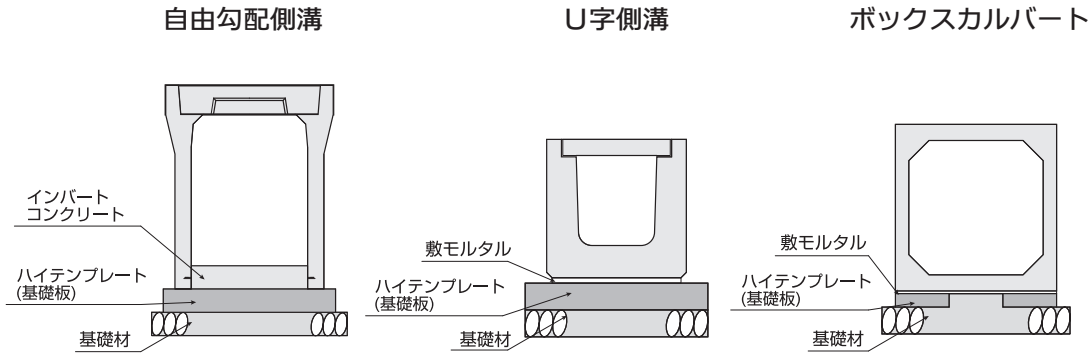


【製品寸法表】

製品寸法(mm)			参考質量 (kg)
B	T	L	
400	100	2000	200
400	100	3100	310
500	100	2000	250
500	100	3100	388
600	100	2000	300
600	100	3100	465
700	100	2000	350

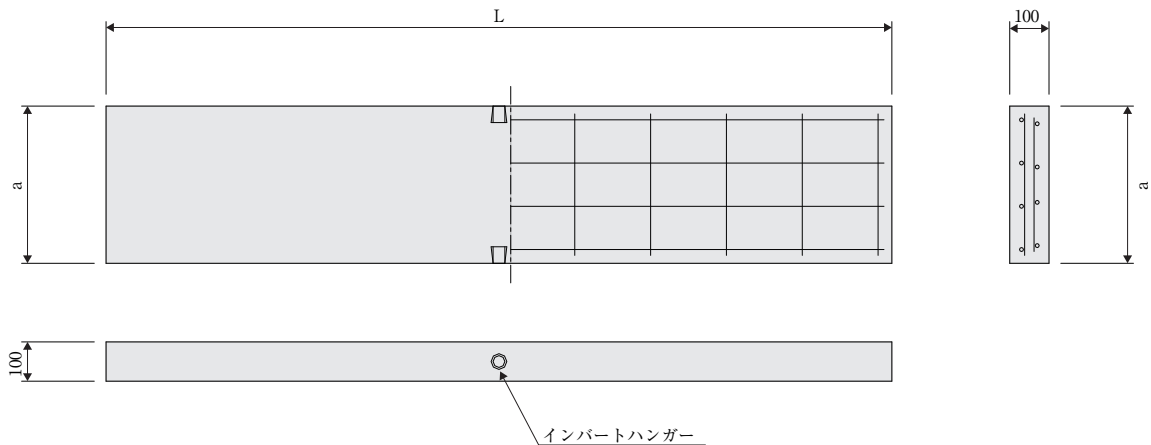
ハイテンプレート（基礎板）

■施工例



基礎板

■VS基礎板



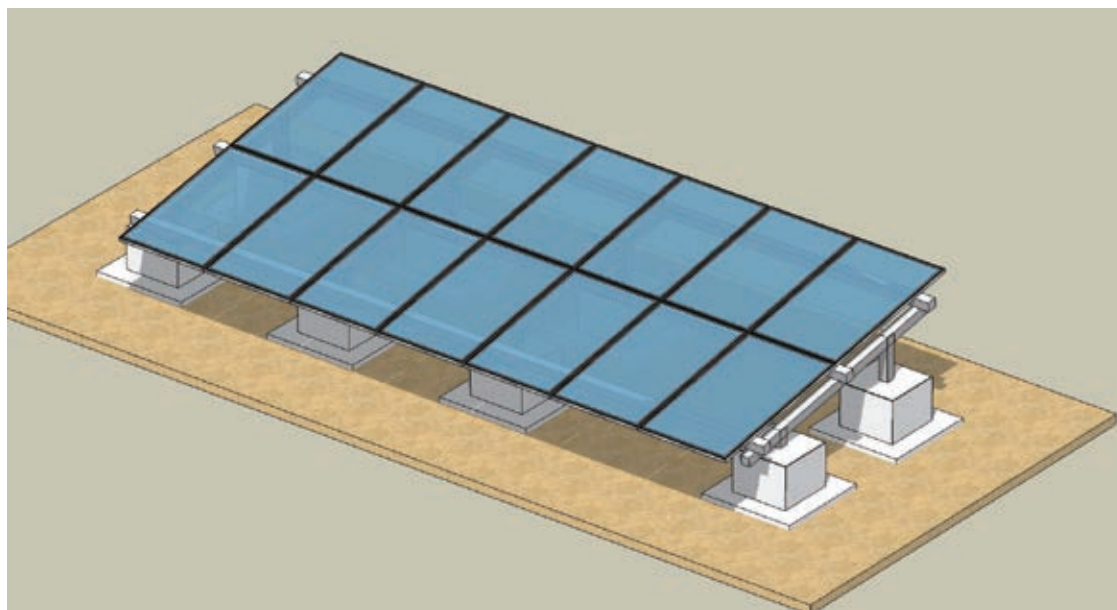
■寸法重量表

呼び名 (巾×深)	参考重量 (kg)	寸法(mm)	
		a	L
VS基礎板 400 2m	206	400	2000
VS基礎板 500 2m	235	500	2000
VS基礎板 600 2m	282	600	2000
VS基礎板 700 2m	329	700	2000
VS基礎板 800 2m	376	800	2000
VS基礎板 900 2m	423	900	2000
VS基礎板 1000 2m	470	1000	2000

呼び名 (巾×深)	参考重量 (kg)	寸法(mm)	
		a	L
VS基礎板 400 1m	103	400	1000
VS基礎板 500 1m	117	500	1000
VS基礎板 600 1m	141	600	1000
VS基礎板 700 1m	164	700	1000
VS基礎板 800 1m	188	800	1000
VS基礎板 900 1m	211	900	1000
VS基礎板 1000 1m	235	1000	1000

※上記以外の形状に対しても特注対応可能です。
詳細は最寄りの営業所までお問合せください。

ソーラー基礎ブロック



■ソーラー基礎ブロック

標準的な地域での風圧に耐えるだけの製品重量があり、施工時に現場にて高さ調整ボルト（らくピタボルト）をブロック底部に取り付けます。



■サンKクリア工法

らくピタボルト（写真）により80~120ミリの範囲で高さ調整が簡単にできるので、施工の省力化や工期短縮を実現。

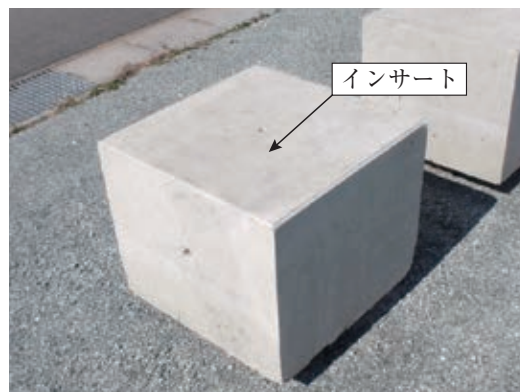
2012年7月からの再生可能エネルギー固定買取制度の開始を受けて、メガソーラー（大規模太陽光発電所）の導入に関心が高まっています。

屋根への設置だけでなく、地上への設置の需要も多くなってきました。そこで今回、地上設置用の架台基礎として、「ソーラー基礎ブロック」を新たに開発しました。

サイズは600×600×500mmで製品重量は430kg、ブロック底部および上面にインサートが埋め込まれており、サンKクリア工法で施工を行います。

架台基礎に必要な性能は、「重さ」、「施工の早さ」、「安さ」の3つです。これらを全て満たすのが、この「ソーラー基礎ブロック」です。

※サンKクリア工法は、(株)オクトの特許工法です。



■ブロック上面に架台固定用のインサート

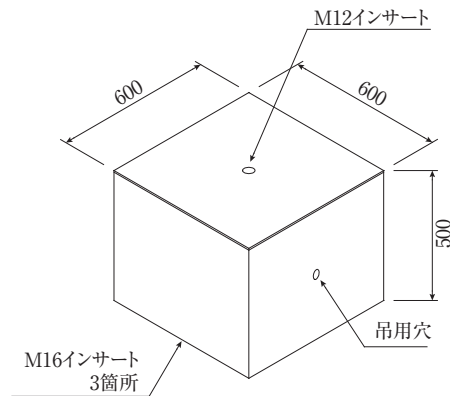
現場で穴を開けてアンカーボルトを打ち込む必要がなく、コンクリートの引抜耐力も現場打コンクリートと比べて大きくなります。

ソーラー基礎ブロック

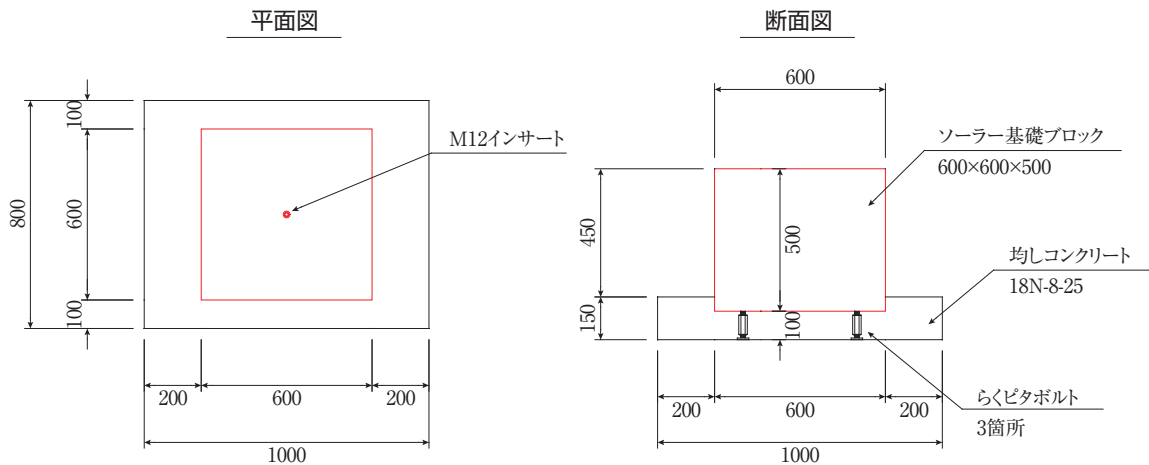
製品特長

■製品図

規格	製品重量
600×600×500	430kg



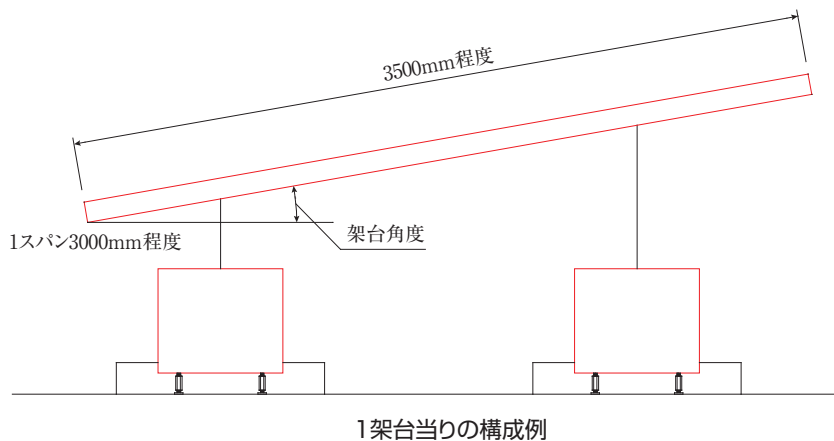
■施工断面図



ソーラー基礎ブロック 材料表 (10基当たり)

名称	規格	単位	数量	摘要
ソーラー基礎ブロック	600×600×500	基	10	430kg/基
らくピタボルト	Aタイプ M16	本	30	3本/基
均しコンクリート	18N-8-25	m ³	1.02	
均し型枠		m ²	5.4	

■ソーラー基礎ブロックの使用範囲

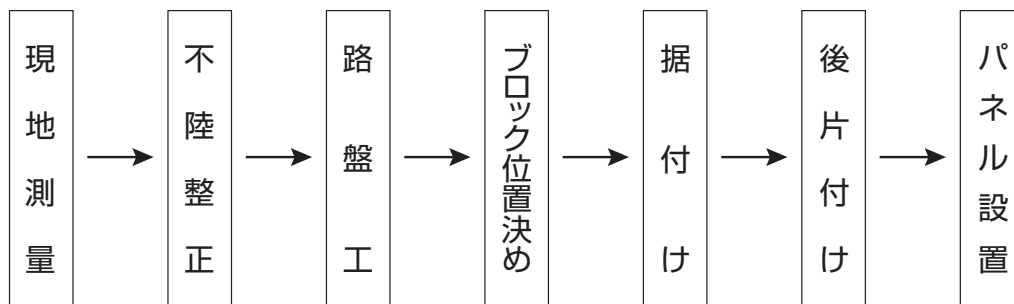


※1.架台角度は10度と20度に対応し、設置スペースに合わせて基礎ブロックの位置が簡単にアレンジできます。

※2.設置場所の条件により基礎ブロックの使用範囲は異なりますので、必ず荷重計算を行ってください。

ソーラー基礎ブロック

施工手順



事前に現地測量を行い、計画高の設定やブロックの配列図を作成します。軟弱地盤の場合には、地盤改良等の対策が必要です。



雑草などを伐採してから、モータグレーダで地盤を不陸修正し、振動ローラーにて転圧します。



碎石（粒調碎石 or クラッシュラン）を15～20cmほど敷均すと、防草対策としての効果があります。



ブロックを設置するために、丁張を上げます。高さが高すぎる又は低すぎる場合には、バックホウにて調整してください。

ソーラー基礎ブロック



ブロック用の専用金具にて、ブロックの吊上げと反転を行います。ワイヤーとシャックルは各自で用意してください。



ブロックを所定の位置に設置します。



基礎完成後、パネルの設置作業に入ります。



パネル設置完成

床版

床版は既存の開水路、農業用水路、道路における橋渡しや、暗渠化を行うための現場打スラブをプレキャスト化した製品です。条件に応じて様々な幅、高さに対応することが可能となっております。必要な条件をお伝えいただければ、その現場に応じた製品を検討いたします。オーダーメイド対応のため、長方形だけでなく、台形等の特殊な形状に対してもご相談ください。



■工期短縮

工場で製造した床版を設置することで施工が完了するため現場打スラブの施工と比較すると、大幅な工期短縮が可能となっております。

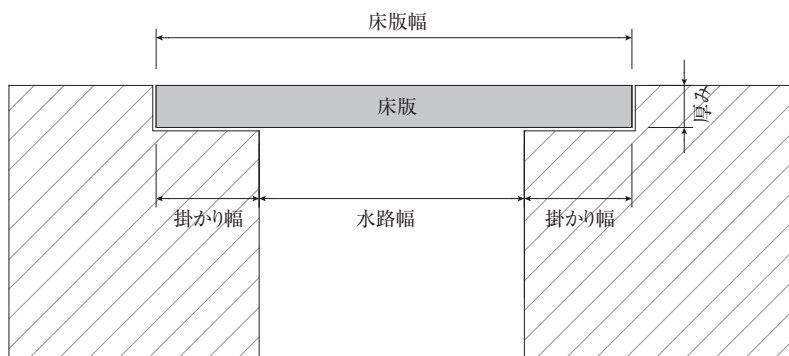
■任意の幅、長さに対応

現場で使用したい幅、高さに応じて製品形状を検討いたします。耐荷重についてもT-25、T-14、歩道用などの荷重に対応した製品を検討いたします。

■開口・グレーチング蓋設置

製品上部への開口、鉄蓋の設置、グレーチング蓋の設置などの対応も可能となっております。

■床版設置例



■橋渡し、暗渠化を行う水路の、

- ・水路幅と長さ
- ・掛かり幅
- ・耐荷重(T-25,T-14,T-6,歩道荷重)
- ・縦横断方向
- ・開口、グレーチング蓋設置箇所、形状

等をお伝えいただければ構造検討を行い形状を決定いたします。

詳しくはお近くの営業所までお問い合わせください。